

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

**特許第3649184号
(P3649184)**

(45) 発行日 平成17年5月18日(2005.5.18)

(24) 登録日 平成17年2月25日(2005.2.25)

(51) Int.Cl.⁷**A 6 1 F 5/41**

F I

A 6 1 F 5/41

請求項の数 21 (全 19 頁)

(21) 出願番号	特願2001-579723 (P2001-579723)	(73) 特許権者	598153744
(86) (22) 出願日	平成13年4月25日(2001.4.25)		株式会社 東海技研工業
(86) 国際出願番号	PCT/JP2001/003581		岐阜県中津川市中津川字子野952番地の
(87) 国際公開番号	W02001/082845		8
(87) 国際公開日	平成13年11月8日(2001.11.8)	(74) 代理人	100100022
審査請求日	平成14年7月23日(2002.7.23)		弁理士 伊藤 洋二
(31) 優先権主張番号	特願2000-128258 (P2000-128258)	(74) 代理人	100108198
(32) 優先日	平成12年4月27日(2000.4.27)		弁理士 三浦 高広
(33) 優先権主張国	日本国(JP)	(74) 代理人	100111578
			弁理士 水野 史博
		(72) 発明者	安江 信博
			岐阜県中津川市中津川字子野952番地の
			8 株式会社 東海技研工業内
		審査官	新井 克夫
			最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 性感体刺激器具

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

陰茎の根元に嵌め込まれるリング状の性感体刺激器具であって、
 弾性変形可能なリング本体を有し、
 リング幅方向からの押圧によりリング幅方向の内側に弾性的に変位する第1変位部を前記
 リング本体に設けるとともに、
 前記第1変位部のリング幅方向の内側への変位に伴って、リング幅方向の外側へ変位する
 第2変位部を前記リング本体に設け、
 前記第2変位部を女性器刺激部として構成し、
 さらに、前記リング本体のリング径方向内側に、リング径方向内側に向けて膨張可能な中
 空構造体を備えたことを特徴とする性感体刺激器具。

【請求項2】

前記第2変位部は、リング径方向の外側へ変位しながら、リング幅方向の外側へ変位する
 運動を行うことを特徴とする請求項1に記載の性感体刺激器具。

【請求項3】

前記第2変位部は、リング径方向の内周部を支点としてリング径方向の外周部がリング幅
 方向の外側へ拡開する運動を行うことを特徴とする請求項1又は2に記載の性感体刺激器
 具。

【請求項4】

陰茎の根元に嵌め込まれるリング状の性感体刺激器具であって、

10

20

弾性変形可能なリング本体を有し、

前記リング本体は、

外周方向が開いた溝部を有する断面略U字状の内リングと、

女性器刺激部を含んで構成され、前記内リングの前記溝部内に嵌め込まれる外リングとを備え、

前記内リングがリング幅方向の両側から押圧力を受けて弾性変形したときに、前記内リングが前記外リングを押圧して前記女性器刺激部を移動させるようになっており、

さらに、前記内リングのリング径方向内側に、リング径方向内側に向けて膨張可能な中空構造体を備えたことを特徴とする性感体刺激器具。

【請求項5】

10

陰茎の根元に嵌め込まれるリング状の性感体刺激器具であって、

内側の面同士が対向する一对の肉厚部と、両肉厚部を繋ぐように形成された湾曲部とを有する断面略U字状の外リングと、

外周方向が開いた溝部を有する断面略U字状の内リングとを有し、

前記外リングは前記内リングの前記溝部内に嵌め込まれており、前記内リングの外側の面が押圧されることによって前記内リングのU字状の両先端部が前記外リングの両肉厚部の外側の面を押圧し、前記両肉厚部の内側の面のうち前記湾曲部側の端部が支点となって前記両肉厚部が回転運動し、女性器を刺激するようになっており、

さらに、前記内リングのリング径方向内側に、リング径方向内側に向けて膨張可能な中空構造体を備えたことを特徴とする性感体刺激器具。

20

【請求項6】

前記内リングの前記溝部内に、前記外リングを前記内リングに対して一定の位置に保つための位置決め部材を設けたことを特徴とする請求項4又は5に記載の性感体刺激器具。

【請求項7】

前記位置決め部材は、前記外リングに一体的に形成されていることを特徴とする請求項6に記載の性感体刺激器具。

【請求項8】

陰茎の根元に嵌め込まれるリング状の性感体刺激器具であって、

外縁部が女性器刺激部となっている外リングと、側面に押圧を受ける内リングとを有し、外周面側から見て前記内リングがリング幅方向の外側で前記外リングがリング幅方向の内側となり、かつ前記外リングが前記内リングよりもリング径方向の外側に位置するように段差を有する構造となっており、

30

前記内リングの側面からの押圧により前記外リングの女性器刺激部がリング幅方向の外側に変位して女性器を刺激するようになっており、

さらに、前記内リングのリング径方向内側に、リング径方向内側に向けて膨張可能な中空構造体を備えたことを特徴とする性感体刺激器具。

【請求項9】

陰茎の根元に嵌め込まれるリング状の性感体刺激器具であって、

第1リング部と、この第1リング部とリング幅方向に平行に設けられた第2リング部と、前記第1、第2リング部を保持する弾性変形可能な保持部を有するリング本体を備え、前記リング本体は、側面からの押圧の変化によって前記第1、第2リング部のリング径方向の外周部間の距離が変化するようになっており、

40

さらに、前記リング本体のリング径方向内側に、リング径方向内側に向けて膨張可能な中空構造体を備えたことを特徴とする性感体刺激器具。

【請求項10】

前記保持部は、前記第1、第2リング部のリング径方向の内周部側に位置するとともに、前記第1、第2リング部に比べて肉厚の薄い薄肉部にて前記第1、第2リング部を支持しており、さらに前記薄肉部は、前記第1、第2リング部の側面のうち互いに対向する側面と反対側にて前記第1、第2リング部を支持していることを特徴とする請求項9に記載の性感体刺激器具。

50

【請求項 1 1】

前記中空構造体は、エアの注入によって膨張するものであることを特徴とする請求項 1 ないし 1 0 のいずれか 1 つに記載の性感体刺激器具。

【請求項 1 2】

前記中空構造体には、エア注入部を有するホースが取り付けられていることを特徴とする請求項 1 1 に記載の性感体刺激器具。

【請求項 1 3】

陰茎の根元に嵌め込まれるリング状の性感体刺激器具であって、
弾性変形可能なリング本体を有し、
前記リング本体は、

10

外周方向が開いた溝部を有する断面略 U 字状の内リングと、
女性器刺激部を含んで構成され、前記内リングの前記溝部に嵌め込まれる外リングとを備え、
前記内リングがリング幅方向の両側から押圧力を受けて弾性変形したときに、前記内リングが前記外リングを押圧して前記女性器刺激部を移動させるようになっており、
さらに、前記外リングのリング幅方向両外側に、前記内リングの最外周部と当接する位置
ずれ防止部材を備えたことを特徴とする性感体刺激器具。

【請求項 1 4】

陰茎の根元に嵌め込まれるリング状の性感体刺激器具であって、
内側の面同士が対向する一对の肉厚部と、両肉厚部を繋ぐように形成された湾曲部とを有する断面略 U 字状の外リングと、
外周方向が開いた溝部を有する断面略 U 字状の内リングとを有し、
前記外リングは前記内リングの前記溝部に嵌め込まれており、前記内リングの外側の面が押圧されることによって前記内リングの U 字状の両先端部が前記外リングの両肉厚部の外側の面を押圧し、前記両肉厚部の内側の面のうち前記湾曲部側の端部が支点となって前記両肉厚部が回転運動し、女性器を刺激するようになっており、
さらに、前記外リングのリング幅方向両外側に、前記内リングの最外周部と当接する位置
ずれ防止部材を備えたことを特徴とする性感体刺激器具。

20

【請求項 1 5】

前記内リングの前記溝部に、前記外リングを前記内リングに対して一定の位置に保つための位置決め部材を設けたことを特徴とする請求項 1 3 又は 1 4 に記載の性感体刺激器具。

30

【請求項 1 6】

前記位置決め部材は、前記外リングに一体的に形成されていることを特徴とする請求項 1 5 に記載の性感体刺激器具。

【請求項 1 7】

陰茎の根元に嵌め込まれるリング状の性感体刺激器具であって、
外縁部が女性器刺激部となっている外リングと、側面に押圧を受ける内リングとを有し、
外周面側から見て前記内リングがリング幅方向の外側で前記外リングがリング幅方向の内側となり、かつ前記外リングが前記内リングよりもリング径方向の外側に位置するように
段差を有する構造となっており、
前記内リングの側面からの押圧により前記外リングの女性器刺激部がリング幅方向の外側に変位して女性器を刺激するようになっており、
さらに、前記外リングのリング幅方向両外側に、前記内リングの最外周部と当接する位置
ずれ防止部材を備えたことを特徴とする性感体刺激器具。

40

【請求項 1 8】

前記外リングのリング幅方向両外側に円周状の凸部が形成されており、この凸部の径方向内側に前記位置ずれ防止部材が複数箇所形成されていることを特徴とする請求項 1 3 ないし 1 7 のいずれか 1 つに記載の性感体刺激器具。

【請求項 1 9】

50

前記外リング内にリング形状を保持するリング形状保持部材を備えたことを特徴とする請求項 4 ないし 8、13 ないし 18 のいずれか 1 つに記載の性感体刺激器具。

【請求項 20】

前記リング形状保持部材は、両端が開放した形状のスプリングであることを特徴とする請求項 19 に記載の性感体刺激器具。

【請求項 21】

前記外リングと前記内リングの間に空気穴が複数箇所形成されていることを特徴とする請求項 4 ないし 8、13 ないし 20 のいずれか 1 つに記載の性感体刺激器具。

【発明の詳細な説明】

技術分野

10

本発明は、陰茎の根元に嵌め込まれるリング状の性感体刺激器具に関する。

背景技術

本出願人は、性行為時に女性器を刺激し、女性に性的快感を与えることができる性感体刺激器具（性感体刺激リング）を先に出願した（特願平 11 - 197758 号）。この性感体刺激器具について、以下説明する。

図 13 はその性感体刺激リングの側面図、図 14 は性感体刺激リングの正面図、図 15（a）は図 13 中の A - A 断面図、図 15（b）は性感体刺激リングの両側から押圧された状態における中央横断面図を示す。

図 13 ~ 図 15 に示すように、性感体刺激リング 10 は、第 1 のリングとしての外リング 14 を、第 2 のリングとしての内リング 12 に外嵌したものである。

20

内リング 12 は、断面略 U 字状の型材が環状に形成されたものである。内リング 12 は、断面形状において以下のように形成されている。すなわち、図 15（a）に示すように、内リング 12 は、内部に凹部（外周方向が開いた溝部）24 を有する断面略 U 字状のもので、略 U 字の両先端部には女性器刺激部としての一对の肉厚部（第 1 変位部）16 が形成されている。肉厚部 16 は、略正形状に形成され、内側に突出している。両肉厚部 16 間には、両肉厚部 16 を繋ぎ両肉厚部 16 を支持する湾曲部 18 が形成されている。

外リング 14 は、内リング 12 と同様、断面略 U 字状の型材が環状に形成されたものである。外リング 14 は、断面形状において以下のように形成されている。すなわち、図 15（a）に示すように、略 U 字の両先端部には女性器刺激部及び外縁部としての肉厚部（第 2 変位部）20 が形成されている。肉厚部 20 は、略正形状に形成され、側面から内側に突出している。両肉厚部 20 間には、両肉厚部 20 を繋ぐように湾曲部 22 が形成されている。両肉厚部 20 は、内側の面同士が接触している。

30

なお、両肉厚部 20 のうち、図 15（a）において左側に位置するのが第 1 リング部 20 a、右側に位置するのが第 2 リング部 20 b を構成している。第 1、第 2 リング部 20 a、20 b は、内側の面同士が対向し、かつリングの軸方向であるリング軸方向（図の左右方向）に平行に設けられている。また、第 1、第 2 リング部 20 a、20 b は、保持部としての湾曲部 22 により支持されている。この湾曲部 22 は、第 1、第 2 リング部 20 a、20 b のリング径方向の内周部側（径内方側）に位置するとともに、第 1、第 2 リング部 20 a、20 b に比べて肉厚の薄い薄肉部となっており、第 1、第 2 リング部 20 a、20 b の側面のうち互いに対向する側面と反対側にて第 1、第 2 リング部 20 a、20 b を支持している。

40

外リング 14 の湾曲部 22 の内径は、内リング 12 の湾曲部 18 の内径より少し大きく形成され、内リング 12 の外周に形成されている断面略 U 字の凹部 24 に嵌装されている。内リング 12 の肉厚部 16 は、外リング 14 によって押し広げられ、肉厚部 16 の角部が外リング 14 の肉厚部 20 と湾曲部 22 との境界部分に当接している。

このようにして、外リング 14 と内リング 12 よりなる弾性変形可能なリング本体が構成される。この性感体刺激リング 10 は、図 14 に示すように、外周面側から見て内リング 12 がリング幅方向の外側で外リング 14 がリング幅方向の内側となり、かつ外リング 14 が内リング 12 よりもリング径方向（図 14 の上下方向）の外側に位置するように段差を有する構造となっている。

50

なお、上述した性感体刺激リング１０の材質は、内リング１２、外リング１４とも硬度１５～２０°Ｈｓの良質のシリコンゴムで、弾性変形可能なものとなっている。

上記した性感体刺激リング１０は、次のようにして用いられる。

まず、性感体刺激リング１０を、図１６に示すように、陰茎Ⅰの根元に環装する（嵌め込む）。この状態においては、性感体刺激リング１０は、図１５（ａ）に示すように、原形のままの状態にある。

次に、性感体刺激リング１０を陰茎Ⅰの根元に環装した状態で陰茎Ⅰを膣Ⅴに挿入し、性交を行う。すると、性感体刺激リング１０の側面が男性の下腹部と女性の下腹部との間で押圧され、内リング１２がリング幅方向の両側からの押圧によりリング幅方向の内側に弾性的に変位し、内リング１２の両肉厚部１６の角部が、外リング１４の肉厚部２０と湾曲部２２との境界部分を押圧する。

10

このとき、外リング１４の肉厚部２０の内側の面のうち湾曲部２２側の端部が支点となって肉厚部２０が回転運動する、すなわちリング径方向の外側へ変位しながらリング幅方向の外側へ変位する運動を行う。言い換えれば、外リング１４の肉厚部２０のリング径方向の外周部がリング径方向の内周部を支点としてリング幅方向の外側へ拡開する運動を行う。その結果、外リング１４の肉厚部２０は、リング幅方向の外側に移動（変位）する。

この状態においては、図１５（ｂ）に示すように、外リング１４の肉厚部２０が内リング１２の肉厚部１６の外側にはみ出し、内リング１２の湾曲部１８が偏平し、内側にはみ出した状態にある。外リング１４の湾曲部２２は、内リング１２の湾曲部１８に挟みこまれる。従って、図１６に示すように、外リング１４の肉厚部２０が女性の外陰部Ｃに接触する。

20

このように内リング１２がリング幅方向に押圧され、内リング１２の肉厚部１６が内側に弾性的に変位すると、その変位に伴って外リング１４の肉厚部２０がリング幅方向の外側に変位し、第１、第２リング部２０ａ、２０ｂのリング径方向の外周部間（径外方側端部間）の距離が変化する。

また、内リング１２の両側からの押圧が解除されると、図１５（ａ）に示す状態に復帰し、外リング１４の肉厚部２０の女性器の外因部Ｃへの接触が解除される。

従って、性交時には、外リング１４の肉厚部２０の女性器の外陰部Ｃへの接触とその解除を行う動作が繰り返され、女性器の外陰部Ｃが刺激される。

なお、内リング１２の内径と陰茎との大きさとの関係によっては、図１５（ｂ）の状態のとき、すなわち内リング１２の湾曲部１８が偏平し、内側にはみ出した状態のときに、偏平した湾曲部１８によって陰茎の根元が締め付けられる。このような締め付け動作が行われると、射精までの時間が長くなり、早漏で悩んでいる男性にとっては有効である。従って、そのような男性にとっては、締め付け動作が行われるように、内リング１２の内径が調整できるようになっているのが好ましい。

30

また、上記した性感体刺激リングは、勃起能力が十分ある男性にとっては有効であるが、勃起能力が十分でない男性の場合には、陰茎の勃起を補助する陰茎勃起補助器具を用いて勃起させ、その勃起した状態を維持させるようにすることが必要である。

従来より陰茎勃起補助器具は、種々存在する。陰茎勃起補助器具は、陰茎の勃起を補助するため陰茎を筒状容器内に挿入し、この筒状容器内の空気を吸引（いわゆる真空引き）して減圧し、血液を陰茎に供給して鬱血状態とするものである。本出願人においても、この種の陰茎勃起補助器具を先に出願している（特願２０００－１０２６５８号）。この陰茎勃起補助器の概要について図１７を参照して説明する。

40

この陰茎勃起補助器は、断面円形の内周面を有する外筒１１１ａと、それよりも若干小径の同じく断面円形の内周面を有する内筒１１１ｂとを有する減圧筒１１１を備えている。内筒１１１ｂの前端は陰茎を挿入する挿入口１１９となっており、その挿入口１１９寄りの内周面全周及び前端全周を覆うエアクッション１２０が装着されている。このエアクッション１２０には、エアを注入するためのエア注入コネクタ１２２が取り付けられている。また、外筒１１１ａの後端はキャップ１１５によって封塞されている。

外筒１１１ａの上面には外筒１１１ａ内部から外部へ連通する連通孔１２５が形成されて

50

いる。外筒 1 1 1 a 上面には連通孔 1 2 5 を包囲するように肉厚部 1 2 6 が設けられ、この肉厚部 1 2 6 には上方に開口した凹部 1 2 8 が形成されている。凹部 1 2 8 内には、断面円形シリンダ 1 4 0 が立設されている。シリンダ 1 4 0 の底板 1 3 9 には、連通孔 1 2 5 に一致する開口部 1 4 1 が形成されている。シリンダ 1 4 0 内部にはピストン 1 4 2 が昇降可能に配設されている。ピストン 1 4 2 の上面には、レバー 1 4 5 が固着されている。ピストン 1 4 2 は、レバー 1 4 5 の上下動に伴ってスライド移動する。ピストン 1 4 2 を境界としたシリンダ 1 4 0 の下方側及び減圧筒 1 1 1 は、第 1 の気室（減圧室）R 1 とされ、ピストン 1 4 2 を境界としたシリンダ 1 4 0 の上方側は、第 2 の気室 R 2 とされている。

ピストン 1 4 2 には第 1 の気室 R 1 と第 2 の気室 R 2 間を連通する連通路 1 4 8 は形成されている。ピストン 1 4 2 の上面であって同連通路 1 4 8 の上部開口位置には一方向弁としてのパッキン 1 4 9 が固着されている。パッキン 1 4 9 は、ピストン 1 4 2 が上昇すると連通路 1 4 8 を閉じ、下降すると第 1 の気室 R 1 から第 2 の気室 R 2 への空気の流入を許容する。

10

また、シリンダ 1 4 0 の第 2 の気室 R 2 に連通するようにホース 1 3 1 が接続されており、このホース 1 3 1 の先端にはノズル 1 3 2 が装着されている。

このように構成された陰茎勃起補助器具は、次のようにして用いられる。

まず、使用者は自身の陰茎 P の根元にリング体 1 5 5 を環装し、挿入口 1 1 9 から陰茎 P を挿入し、エアクッション 1 2 0 にリング体 1 5 5 を密着させる。また、ノズル 1 3 2 をリング体 1 5 5 のエア注入コネクタ 1 5 6 に挿入する。そして、リング体 1 5 5 を挿入口 1 1 9 に押しつけた段階で第 1 の気室 R 1 は気密状態となる。

20

使用者はレバー 1 4 5 を押してピストン 1 4 2 を下方に進出させる。すると、第 1 の気室 R 1 内の空気は、第 1 の気室 R 1 の体積の減少に伴ってピストン 1 4 2 の連通路 1 4 8 を通過しパッキン 1 4 9 を押し上げながら第 2 の気室 R 2 側に移動する。

パッキン 1 4 9 が最も下降して底板 1 3 9 に当接すると、使用者はレバー 1 4 5 を今度は逆に引いてピストン 1 4 2 を上方に後退させる。すると、第 2 の気室 R 2 内の空気はパッキン 1 4 9 によって阻止されるため第 1 の気室 R 1 側には移動せず、ホース 1 3 1 を介しノズル 1 3 2 からリング体 1 5 5 内に排気され、リング体 1 5 5 を膨らませる。一方、第 1 の気室 R 1 はピストン 1 4 2 の上方への後退によって体積が増すものの、空気の流入がないため内部は減圧状態となる。従って、陰茎 P に血液が流れ込み鬱血して勃起現象が生じる。

30

次いで、使用者は再びレバー 1 4 5 を押して下方に進出させる。以下、このレバー 1 4 5 の押引を繰り返すことで第 1 の気室 R 1 の減圧は進み、それに伴って血液が更に流れ込み、徐々に陰茎 P が勃起していくとともに、リング体 1 5 5 が膨張してその内径が縮径する。これによって流れ込んだ血液の流れを阻止でき陰茎 P を鬱血状態に保持することができる。

そして、所望の勃起状態及び適度なリング体 1 5 5 の締め付け状態となった段階でリング体 1 5 5 のエア注入コネクタ 1 5 6 からノズル 1 3 2 を取り外し、挿入口 1 1 9 から陰茎 P を抜いて、性行為に移る。

なお、リング体 1 5 5 には、シリンダ 1 4 0 の第 2 の気室に連通するホース 1 3 1 から圧縮空気を供給するものに限らず、別に設けたポンプ等によりリング体 1 5 5 の膨張を行うようにすることもできる。

40

発明の開示

本発明は、本出願人が先に出願した性感体刺激器具を改良した性感体刺激器具を提供することを目的とする。

具体的には、リング径方向内側の大きさを可変にできるようにすることを目的とする。

また、上記したような勃起補助器具とともに用い、かつリング体 1 5 5 の代わりに本出願人が先に出願した性感体刺激器具を用いることができるようにすることを目的とする。

また、性交時に外リングと内リングが位置ずれするのを防止できるようにすることを目的とする。

50

また、女性に与える性的快感を向上させることを目的とする。

本発明は、上記したいずれかの目的を達成するため、特許請求の範囲の各請求項に記載した特徴を有する。

具体的には、本発明に係る性感体刺激器具は、弾性変形可能なリング本体を有し、リング幅方向からの押圧によりリング幅方向の内側に弾性的に変位する第1変位部をリング本体に設けるとともに、第1変位部のリング幅方向の内側への変位に伴って、リング幅方向の外側へ変位する第2変位部をリング本体に設け、第2変位部を女性器刺激部として構成し、さらにリング本体のリング径方向内側に、リング径方向内側に向けて膨張可能な中空構造体を備えたことを特徴としている。

このように構成することにより、第1変位部のリング幅方向の内側への変位に伴って、リング幅方向の外側へ、女性器刺激部としての第2変位部が変位するので、性交時に女性に性的快感を与えることができる。また、リング本体のリング径方向内側にリング径方向内側に向けて膨張可能な中空構造体を備えているから、リング径方向内側の大きさを可変にすることができる。

10

この場合、具体的には、第2変位部は、リング径方向の外側へ変位しながら、リング幅方向の外側へ変位する運動を行う。また、請求項3に記載の発明のように、第2変位部は、リング径方向の内周部を支点としてリング径方向の外周部がリング幅方向の外側へ拡開する運動を行う。

また、本発明に係る性感体刺激器具は、弾性変形可能なリング本体を有し、このリング本体は、外周方向が開いた溝部を有する断面略U字状の内リングと、女性器刺激部を含んで構成され内リングの溝部内に嵌め込まれる外リングとを備え、内リングがリング幅方向の両側から押圧力を受けて弾性変形したときに、内リングが外リングを押圧して女性器刺激部を移動させるようになっており、さらに内リングのリング径方向内側に、リング径方向内側に向けて膨張可能な中空構造体を備えたことを特徴としている。

20

このように、内リングがリング幅方向の両側から押圧力を受けて弾性変形し、内リングが外リングを押圧して女性器刺激部を移動させるようになっているので、性交時に女性に性的快感を与えることができる。また、内リングのリング径方向内側にリング径方向内側に向けて膨張可能な中空構造体を備えているから、リング径方向内側の大きさを可変にすることができる。

また、本発明に係る性感体刺激器具は、内側の面同士が対向する一对の肉厚部と、両肉厚部を繋ぐように形成された湾曲部とを有する断面略U字状の外リングと、外周方向が開いた溝部を有する断面略U字状の内リングとを有し、外リングは内リングの溝部内に嵌め込まれており、内リングの外側の面が押圧されることによって内リングのU字状の両先端部が外リングの両肉厚部の外側の面を押圧し、両肉厚部の内側の面のうち湾曲部側の端部が支点となって両肉厚部が回転運動し、女性器を刺激するようになっており、さらに内リングのリング径方向内側に、リング径方向内側に向けて膨張可能な中空構造体を備えることを特徴としている。

30

このように、内リングの外側の面が押圧されることによって外リングのU字状の両先端部が外リングの両肉厚部の外側の面を押圧し、両肉厚部の内側の面のうち湾曲部側の端部が支点となって両肉厚部が回転運動し、女性器を刺激するようになっているので、性交時に女性に性的快感を与えることができる。また、内リングのリング径方向内側にリング径方向内側に向けて膨張可能な中空構造体を備えているから、リング径方向内側の大きさを可変にすることができる。

40

この場合、内リングの溝部内に、外リングを内リングに対して一定の位置に保つための位置決め部材を設けるようにすれば、外リングが内リングに対しリング径方向にずれたとしても、直ちに外リングを内リングに対し適正な位置に戻すようにすることができる。この位置決め部材は、外リングに一体的に形成したものとすることができる。

なお、上記した両肉厚部のそれぞれの内側の面に、両肉厚部と湾曲部によって形成される空間と外部とを連通する空気穴を形成するための溝を設けるようにすれば、性交時に両肉厚部が外方に変位した状態から元の状態に早く復帰させることができ、両肉厚部の作用を

50

適正に行わせることができる。また、両肉厚部のそれぞれにおいて、リング径方向の外周部におけるリング幅方向の内側端部および外側端部を、アールが設けられた形状にすることにより、性交時に女性に違和感を生じさせないようにすることができる。

また、本発明に係る性感体刺激器具は、外縁部が女性器刺激部となっている外リングと、側面に押圧を受ける内リングとを有し、外周面側から見て内リングがリング幅方向の外側で外リングがリング幅方向の内側となり、かつ外リングが内リングよりもリング径方向の外側に位置するように段差を有する構造となっており、内リングの側面からの押圧により外リングの女性器刺激部がリング幅方向の外側に変位して女性器を刺激するようになっており、さらに内リングのリング径方向内側に、リング径方向内側に向けて膨張可能な中空構造体を備えたことを特徴としている。

10

このように、内リングの側面からの押圧により外リングの女性器刺激部がリング幅方向の外側に変位して女性器を刺激するようになっているので、性交時に女性に性的快感を与えることができる。また、内リングのリング径方向内側にリング径方向内側に向けて膨張可能な中空構造体を備えているから、リング径方向内側の大きさを可変にすることができる。

また、本発明に係る性感体刺激器具は、第1リング部と、この第1リング部とリング幅方向に平行に設けられた第2リング部と、第1、第2リング部を保持する弾性変形可能な保持部を有するリング本体を備え、リング本体は、側面からの押圧の変化によって第1、第2リング部のリング径方向の外周部間の距離が変化するようにになっており、さらに内リングのリング径方向内側に、リング径方向内側に向けて膨張可能な中空構造体を備えたことを特徴としている。

20

このように、第1、第2リング部と、保持部を有するリング本体において、側面からの押圧の変化によって第1、第2リング部のリング径方向の外周部間の距離が変化するようにになっているので、第1又は第2リング部の動作によって性交時に女性に性的快感を与えることができる。また、リング本体のリング径方向内側にリング径方向内側に向けて膨張可能な中空構造体を備えているから、リング径方向内側の大きさを可変にすることができる。

この場合、具体的には、保持部として、第1、第2リング部のリング径方向の内周部側に位置するとともに、第1、第2リング部に比べて肉厚の薄い薄肉部にて第1、第2リング部を支持するようにし、薄肉部を、第1、第2リング部の側面のうち互いに対向する側面と反対側にて第1、第2リング部を支持するように構成することができる。

30

また、上記した中空構造体は、エアの注入によって膨張するものとすることができる。また、中空構造体に、エア注入部を有するホースを取り付けるようにすれば、中空構造体にエアを注入する操作を行いやすくすることができる。

なお、上述した中空構造体は、後述する実施形態に示すように、リング本体（内リング）に予め固定して取り付けられることその他、取り外し可能に取り付けられていてもよい。

また、本発明に係る性感体刺激器具は、陰茎の根元に嵌め込まれるリング状の性感体刺激器具であって、弾性変形可能なリング本体を有し、リング本体は、外周方向が開いた溝部を有する断面略U字状の内リングと、女性器刺激部を含んで構成され、内リングの溝部内に嵌め込まれる外リングとを備え、内リングがリング幅方向の両側から押圧力を受けて弾性変形したときに、内リングが外リングを押圧して女性器刺激部を移動させるようになっており、さらに、外リングのリング幅方向両外側に、内リングの最外周部と当接する位置ずれ防止部材を備えたことを特徴としている。

40

このように、内リングがリング幅方向の両側から押圧力を受けて弾性変形し、内リングが外リングを押圧して女性器刺激部を移動させるようになっているので、性交時に女性に性的快感を与えることができる。また、外リングのリング幅方向両外側に、内リングの最外周部と当接する位置ずれ防止部材を備えているから、性交時に外リングと内リングが位置ずれするのを防止することができる。

また、本発明に係る性感体刺激器具は、内側の面同士が対向する一対の肉厚部と、両肉厚部を繋ぐように形成された湾曲部とを有する断面略U字状の外リングと、外周方向が開い

50

た溝部を有する断面略U字状の内リングとを有し、外リングは内リングの溝部内に嵌め込まれており、内リングの外側の面が押圧されることによって内リングのU字状の両先端部が外リングの両肉厚部の外側の面を押圧し、両肉厚部の内側の面のうち湾曲部側の端部が支点となって両肉厚部が回転運動し、女性器を刺激するようになっており、さらに外リングのリング幅方向両外側に、内リングの最外周部と当接する位置ずれ防止部材を備えたことを特徴としている。

このように、内リングの外側の面が押圧されることによって外リングのU字状の両先端部が外リングの両肉厚部の外側の面を押圧し、両肉厚部の内側の面のうち湾曲部側の端部が支点となって両肉厚部が回転運動し、女性器を刺激するようになっているので、性交時に女性に性的快感を与えることができる。また、外リングのリング幅方向両外側に、内リングの最外周部と当接する位置ずれ防止部材を備えているから、性交時に外リングと内リングが位置ずれするのを防止することができる。

10

この場合、内リングの溝部内に、外リングを内リングに対して一定の位置に保つための位置決め部材を設けるようにすれば、外リングが内リングに対しリング径方向にずれたとしても、直ちに外リングを内リングに対し適正な位置に戻すようにすることができる。この位置決め部材は、外リングに一体的に形成したものとすることができる。

また、本発明に係る性感体刺激器具は、外縁部が女性器刺激部となっている外リングと、側面に押圧を受ける内リングとを有し、外周面側から見て内リングがリング幅方向の外側で外リングがリング幅方向の内側となり、かつ外リングが内リングよりもリング径方向の外側に位置するように段差を有する構造となっており、内リングの側面からの押圧により外リングの女性器刺激部がリング幅方向の外側に変位して女性器を刺激するようになっており、さらに外リングのリング幅方向両外側に、内リングの最外周部と当該する位置ずれ防止部材を備えたことを特徴としている。

20

このように、内リングの側面からの押圧により外リングの女性器刺激部がリング幅方向の外側に変位して女性器を刺激するようになっているので、性交時に女性に性的快感を与えることができる。また、外リングのリング幅方向両外側に、内リングの最外周部と当接する位置ずれ防止部材を備えているから、性交時に外リングと内リングが位置ずれするのを防止することができる。

また、外リングのリング幅方向両外側に円周状の凸部を形成し、この凸部の径方向内側に位置ずれ防止部材を複数箇所形成するようにすれば、性交時に内リングを変位しやすくすることができ、しかも位置ずれ防止部材が凸部の径方向外側に位置しているため、女性に与える性的快感を向上させることができる。

30

また、本発明に係る性感体刺激器具において、外リング内にリング形状を保持するリング形状保持部材を備えるのが好ましい。このリング形状保持部材として、両端が開放した形状のスプリングを用いれば、性交時に外リングと内リングを適度に変形させることができる。

また、外リングと内リングの間に空気穴を複数箇所形成するようにすれば、性交時に内リングが変位した状態から元の状態に早く復帰させることができる。

【図面の簡単な説明】

図1は、本発明の第1実施形態に係る性感体刺激リングにおける外リングの構成を示す図である。

40

図2は、本発明の第1実施形態に係る性感体刺激リングにおいて外リングを内リングに嵌装した状態を示す図である。

図3は、外リングが内リングに対しリング径方向にずれたとしても、外リングが内リングに対し適正な位置に直ちに戻る状態を説明するための図である。

図4は、外リングおよび内リングのそれぞれの肉厚部の内側の面の構成および外リングおよび内リングに空気穴が形成されることを示す図である。

図5は、外リングを内リングに装着した状態において、さらに内リングのリング径方向内側に中空構造体を装着した状態を示す図である。

図6は、中空構造体のエア注入部にエアポンプを取り付ける状態を示す図である。

50

図 7 は、本発明の第 2 実施形態に係る性感体刺激リングにおいて内リングのリング径方向内側に中空構造体を装着した状態を示す図である。

図 8 は、図 7 中の中空構造体の具体的な構成を示す図である。

図 9 は、本発明の第 3 実施形態に係る性感体刺激リングにおける外リングの構成を示す図である。

図 10 は、本発明の第 3 実施形態に係る性感体刺激リングにおいて外リングを内リングに嵌装した状態を示す図である。

図 11 は、本発明の第 3 実施形態に係る性感体刺激リングの他の例を示す図である。

図 12 は、リング形状保持部材として用いる、両端が開放した形状のスプリングを示す図である。

10

図 13 は、本出願人が先に出願した性感体刺激リングの側面図である。

図 14 は、図 13 に示す性感体刺激リングの正面図である。

図 15 (a) は、図 13 中の A - A 断面図、図 15 (b) は、図 13 に示す性感体刺激リングを両側から押圧した状態における中央横断面図である。

図 16 は、図 13 を示す性感体刺激リングの使用状態における断面図である。

図 17 は、本出願人が先に出願した陰茎勃起補助器具の構成を示す図である。

発明を実施するための最良の形態

以下、本発明を図に示す実施形態について説明する。なお、以下に示す実施形態において、図 13 ~ 図 15 で示したものと同一符号のものは、同一もしくは均等のものであることを示している。

20

(第 1 実施形態)

この実施形態における性感体刺激リング 10 の基本的な構成は、図 13 ~ 図 15 に示すものと同様であるので、それとの相違部分を中心に説明する。

図 1 に、この実施形態における外リング 14 の構成を示す。(a) は外リング 14 の側面図、(b) は (a) 中の B - B 断面図である。また、図 2 に、外リング 14 を内リング 12 に嵌装した状態を示す。(a) はその状態の側面図、(b) は (a) 中の C - C 断面図である。但し、この図 2 には、後述する中空構造体 40 は装着されていない。

この実施形態では、図 1 に示すように、外リング 14 は、リング径方向の外周部におけるリング幅方向の内側端部（すなわち外リング 14 の肉厚部 20 の内側の面のうち湾曲部 22 と反対側の端部）および外側端部にアールが設けられた形状になっている。外リング 14 の肉厚部 20 は、性交時に女性の外陰部に接触するため、その外表面に角があると、女性に違和感を生じさせるが、この実施形態のように、外リング 14 の肉厚部 20 の外表面の角部を全て丸くした形状にすることにより、女性に違和感を生じさせないようにすることができる。

30

また、外リング 14 の湾曲部 22 においてリング径方向内側に突起 26 が一体的に形成されている。この突起 26 は、外リング 14 を内リング 12 に嵌装した状態において、図 2 に示すように、外リング 14 を内リング 12 に対し一定の距離を保つための位置決め部材として作用する。すなわち、この突起 26 を設けない場合、性交時に、外リング 14 が内リング 12 に対しリング径方向にずれたままとなつて、外リング 14 の肉厚部 20 が適正に作用しない事態が生じ得るが、突起 26 を設けることにより、外リング 14 が内リング 12 に対しリング径方向にずれたとしても、直ちに外リング 14 を内リング 12 に対し適正な位置に戻すことができる。すなわち、図 3 (a) に示すように、外リング 14 が内リング 12 に対しリング径方向にずれたとき、突起 26 が変形し、突起 26 はその変形を解除する方向に作用するため、図 3 (b) に示す状態から図 3 (c) に示す状態になり、外リング 14 を内リング 12 に対し適正な位置に戻すことができる。

40

また、この実施形態では、図 4 (a) に示すように、外リング 14 の肉厚部 20 のそれぞれの内側の面には、複数の点対象位置、例えば上下左右 4ヶ所に溝 20a が形成されている。また、図 4 (b) に示すように、内リング 12 の肉厚部 16 のそれぞれの内側の面には、複数の点対象位置、例えば上下左右 4ヶ所に溝 16a が形成されている。外リング 14 を内リング 12 に嵌装し、両肉厚部 20 の内側の面同士が接触した状態において、上記

50

した溝 20a により、図 4(c) に示すように、外リング 14 における両肉厚部 20 と湾曲部 22 によって形成される内部の空間と外部とを連通する空気穴 28 が形成される。また、上記した溝 16a により、図 4(c) に示すように、内リング 12 の肉厚部 16 と湾曲部 18 および外リング 14 の肉厚部 20 とによって形成される内部の空間と外部とを連通する空気穴 29 が形成される。

空気穴 28、29 を設けることにより、性交時に両肉厚部 20、16 が外方に変位した状態から元の状態に早く復帰させることができ、両肉厚部 20、16 の作用を適正に行わせることができる。なお、性感体刺激リング 10 は、外リング 14 を内リング 12 に外嵌するものであるから、空気穴 28 と空気穴 29 の相対的な置関係は、外リング 14 と内リング 12 の取り付け状態によって変化する。

10

また、この実施形態では、外リング 14 を内リング 12 に装着した状態において、さらに内リング 12 のリング径方向内側に、図 5 に示すように、袋体をなす中空構造体 40 が装着される。この中空構造体 40 は、内部が中空となつてエアの注入によりリング径方向内側に向けて膨張するような材料（例えば、シリコンゴムなどの弾性部材）で形成されたものである。この中空構造体 40 の中空部 40c は、図に示すように断面積が徐々に変化する大きさとなっており、内リング 12 の内側の全周に対して設けられていない。このことにより、エアの注入によって中空構造体 40 をリング径方向内側に向けて膨張させることができる。なお、中空構造体 40 は、内リング 12 にはめ込んで取り付けるものとなっている、すなわち内リング 12 から取り外し可能になっている。

この中空構造体 40 には、内部にエアを注入するためのホース 41 が取り付けられている。中空構造体 40 は、2つの部材 40a、40b から構成されており、部材 40a、40b の両端部において一方の部材 40a を他方の部材 40b にはめ込み、接着固定することにより構成されるが、両部材 40a、40b の一方側端部において一方の部材 40a をホース 41 とともに他方の部材 40b にはめ込んで接着固定することにより、ホース 41 を有する中空構造体 40 が構成される。

20

ホース 41 の端部には、エア注入部 42 が設けられている。このエア注入部 42 には、内部にボール 42a を有する一方弁（エア弁）が備えられており、中空構造体 40 の方向にのみエアの供給が許容される。

中空構造体 40 のエア注入部 42 には、図 6 に示すように、エアポンプ 50 が脱着可能に取り付けられる。そして、エアポンプ 50 を取り付けした状態でエアポンプ 50 を上下方向（図中の上下の矢印方向）にエアを注入するための操作を行うと、エアポンプ 50 からエア注入部 42、ホース 41 を介して中空構造体 40 の内部にエアが供給される。このエアの供給によって、中空構造体 40 が図 5 中の矢印で示すようにリング径方向内側に向けて膨張し、図 5 中の破線のような状態になる。

30

また、この実施形態では、図 2 に示すように、リング形状を円形に保つリング形状保持部材（例えば、ワイヤまたはスプリング等のリング状部材）30 が、外リング 12 にはめ込まれている。このリング形状保持部材 30 は、中空構造体 40 を膨張させるときに、外リング 14 と内リング 12 の変形を防ぎ、外リング 14 と内リング 12 の形状を円形に保つために用いられる。

上記のように構成された性感体刺激リング 10（図 5 に示す状態のもの）は、次のようにして用いられる。

40

まず、使用者は、自身の陰茎の根元に図 5 に示す状態の性感体刺激リング 10 を環装する。この状態では未だ陰茎は完全に勃起してはいない。そして、例えば図 17 に示すような勃起補助器具（但し、リング体 155 への排気は行わないため、ホース 131 は外しておく）を用い、減圧筒 111 内に陰茎を挿入し、この減圧筒 111 内の空気を吸引（いわゆる真空引き）して減圧し、血液を陰茎に供給して鬱血状態とし、陰茎を勃起状態にする。そして、十分な勃起が得られた状態で、ポンプ 50 によりエア注入部 42、ホース 41 を介して中空構造体 40 にエアを送り、中空構造体 40 を膨張させる。このことにより、性感体刺激リング 10 の内径が縮径し、流れ込んだ血液の流れを阻止して、陰茎を鬱血状態に保持することができる。

50

その後、勃起補助器具から陰茎を抜き、性行為に移る。その性交時には、性感体刺激リング１０は、図１３～図１５に示したものと同様の動作を行う。

すなわち、性感体刺激リング１０の側面が男性の下腹部と女性の下腹部との間で押圧され、内リング１２がリング幅方向の両側からの押圧によりリング幅方向の内側に弾性的に変位し、内リング１２の両肉厚部１６の角部が、外リング１４の肉厚部２０と湾曲部２２との境界部分を押圧する。このとき、外リング１４の肉厚部２０の内側の面のうち湾曲部２２側の端部が支点となって肉厚部２０が回転運動、すなわちリング径方向の外側へ変位しながらリング幅方向の外側へ変位する運動を行う。言い換えれば、外リング１４の肉厚部２０のリング径方向の外周部がリング径方向の内周部を支点としてリング幅方向の外側へ拡開する運動を行う。その結果、外リング１４の肉厚部２０は、リング幅方向の外側に移動（変位）し、女性の外陰部に接触する。

10

このように内リング１２がリング幅方向に押圧され、内リング１２の肉厚部１６が内側に弾性的に変位すると、その変位に伴って外リング１４の肉厚部２０がリング幅方向の外側に変位し、第１、第２リング部２０ａ、２０ｂのリング径方向の外周部間（径外方側端部間）の距離が変化する。

従って、性交時には、外リング１４の肉厚部２０の女性器の外陰部への接触とその解除を行う動作が繰り返され、女性器の外陰部が刺激される。

なお、上記した性感体刺激リング１０は、図１７に示す勃起補助器具以外の勃起補助器具とともに用いるようにしてもよい。

また、上記した性感体刺激リング１０は、そのような勃起補助器具を用いる以外の場合にも有効に利用することができる。すなわち、中空構造体４０の膨張によって、内リング１２の内径を調整することができ、性交時に締め付け動作を加えるようにすることができる。この締め付け動作によって、射精までの時間が長くなり、早漏で悩んでいる男性にとっては、有効なものとなる。

20

（第２実施形態）

図７に、中空構造体４０を他の構成にした実施形態を示す。この実施形態における中空構造体４０は、内部が中空となってエアの注入によりリング径方向内側に向けて膨張する膨張部４３と、この膨張部４３を内リング１２の内側に取り付けするための取り付け部４４ａ、４４ｂ、４４ｃを備えている。なお、内リング１２には、取り付け部４４ａ、４４ｂ、４４ｃを取り付けるための穴がそれぞれ設けられている。また、外リング１４に形成された突起２６には、取り付け部４４ａ、４４ｂ、４４ｃの取り付け位置スペースを確保するため、図に示すように切り欠き２６ａ、２６ｂ、２６ｃがそれぞれ形成されている。

30

中空構造体４０の３つの取り付け部４４ａ、４４ｂ、４４ｃのうち取り付け部４４ａだけが開口部を有している。取り付け部４４ａの開口部には、ホース４１の一端側が接着固定等によって取り付けられている。ホース４１は、外リング１４の両肉厚部２０に形成された図示しない溝を通り、リング形状保持部材３０の横から外リング１４の湾曲部２２に形成された図示しない穴を通して取り付け部４４ａの開口部に取り付けられている。

このような構成において、ホース４１の他端にあるエア注入部４２にエアポンプ５０を取り付け、エアポンプ５０を動作させると、エアポンプ４２からエア注入部４２、ホース４１を介して中空構造体４０の内部にエアが供給され、膨張部４３が図中の矢印方向に膨張し、図中の破線のような状態になる。

40

図８に、上記した中空構造体４０の具体的な構成を示す。（ａ）は（ｂ）のＥ－Ｅ断面図、（ｂ）は上面図、（ｃ）は（ａ）中のＦ－Ｆ断面図である。この中空構造体４０は、エアの注入によって膨張できる材質のもの（例えば、シリコンゴム）で構成されており、膨張部４３が容易に膨張できるように上面が波形の形状になっている。この中空構造体４０を成形する場合、その成形上の制約から取り付け部４４ａ、４４ｃに開口部４４１ａ、４４１ｃがそれぞれ形成されるが、取り付け部４４ａのみからエアの注入を行うため、取り付け部４４ｃの開口部４４１ｃは、図示しない充填部材によって封止される。

なお、上記した第１、第２の実施形態では、中空構造体４０にホース４１が予め取り付けられているため、中空構造体４０にエアを注入する操作を行いやすくすることができるが

50

、中空構造体 40 にノズルを挿入してエアを注入し、ノズルを外した後もエアの保持ができるような構成になっていてもよい。

また、上記した第 1、第 2 実施形態では、内リング 12 と外リング 14 を別体としてリング本体を構成するものを示したが、側面からの押圧の変化によってリング径方向の外周部間の距離が変化するものであれば、リング本体が一体的に形成されているものであってもよい。

(第 3 実施形態)

次に、本発明の第 3 実施形態における性感体刺激リング 10 について説明する。このものの基本的な構成は、図 1、図 2 に示すものと同様であるので、それとの相違部分を中心に

10

して説明する。
図 9 に、この実施形態における外リング 14 の構成を示す。(a) は外リング 14 の側面図、(b) は(a)中の G - G 断面図である。また、図 10 に、外リング 14 を内リング 12 に嵌装した状態を示す。(a)はその状態の側面図、(b)は(a)中の H - H 断面図である。

この実施形態では、図 9 に示すように、外リング 14 の両肉厚部 20 のそれぞれの外側(リング幅方向外側)の表面に円周状の凸部 61 が形成されている。また、この凸部 61 の内側(径方向内側)には、複数の点対象位置、例えば上下左右 4ヶ所につば部 62 が形成されている。凸部 61 とつば部 62 は、外リング 14 と一体に形成されている。

このような外リング 14 を内リング 12 に嵌装すると、図 10 に示すように、内リング 12 の最外周部が、凸部 61 の内側 4ヶ所に形成されたつば部 62 に当接する。このことによって、性交時に、外リング 14 と内リング 12 が位置ずれするのを防止することができる。このつば部 62 は、内リングの最外周部と複数箇所

20

で当接して、外リング 14 と内リング 12 の位置ずれを防止する位置ずれ防止部材を構成している。
なお、この位置ずれ防止部材としては、図 11 に示すように、外リング 14 の両肉厚部 20 のそれぞれの外側の表面に形成した円周状の凸部 61 とすることもできる。このようにすると、外リング 14 を内リング 12 に嵌装したとき、凸部 61 が内リング 12 の最外周部に円周状に当接する。なお、図 11 において、(a)は外リング 14 を内リング 12 に嵌装した状態の側面図、(b)は(a)中の I - I 断面図である。しかし、このように構成した場合、性交時に内リング 12 が凸部 61 によって変位しにくくなるため、性交時に内リング 12 の両肉厚部 16 を変位しやすくするという点からすれば、図 9、図 10 に示すように、凸部 61 を外リング 14 の外周部側に

30

移動させ、凸部 61 の内側につば部 62 を複数箇所設け、つば部 62 で位置ずれ防止をするようにするのが好ましい。なお、つば部 62 の数は、4つ以外でもよい。
また、凸部 61 を外リング 14 の外周部側に移動させることによって、女性に与える性的快感を向上させることができる。すなわち、図 1、図 2 に示すものでは、性交時に外リング 14 の肉厚部 20 がリング幅方向の外側へ拡開する運動を行うことによって、外リング 14 の外側端部のアールの部分が女性の外陰部に接触し、女性に性的快感を与えるものであるが、上記したような凸部 61 を設けると、その凸部 61 もリング幅方向の外側へ拡開する運動を行い、凸部も女性の外陰部に接触するため、女性に与える性的快感を向上させることができる。

40

この場合、図 9、図 10 に示すように、凸部 61 を図 11 に示すものより、外リング 14 の外周部側に移動させた方が、凸部 61 がリング幅方向の外側へ拡開する運動が大きくなるため、女性に与える性的快感を大きくさせることができる。

また、この実施形態では、内リング 12 の肉厚部 16 の内側の面に形成する溝 16a の数を第 1 実施形態よりも多くし、例えば 8ヶ所として、空気穴 29 の数を 8ヶ所としている。このように空気穴 29 の数を多くすることによって、性交時に両肉厚部 20、16 が外方に変位した状態から元の状態に早く復帰させることができるという効果に加え、性交時に女性器から溢れる体液を空気穴 29 から内リング 12 の湾曲部 18 内に逃がし、体液によって両肉厚部 20、16 の動きが悪くなるといった不具合を防ぐことができる。

また、この実施形態では、リング形状保持部材 30 として、図 12 に示すようなスプリン

50

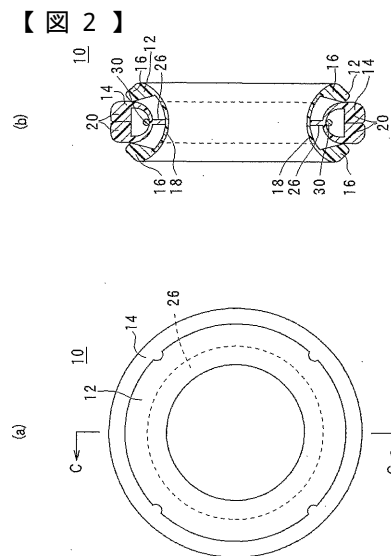
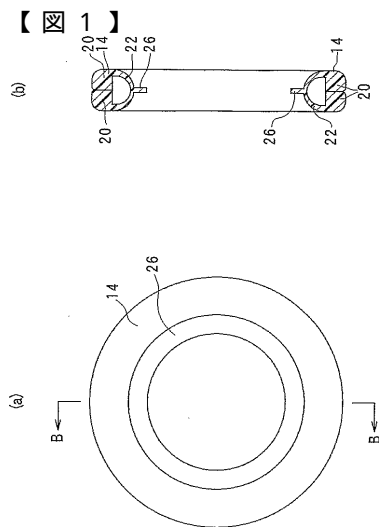
グ 30 を用いている。リング形状保持部材 30 を閉ループ形状とすると、外リング 14 と内リング 12 の形状を円形に保つことができるが、性交時に外リング 14 と内リング 12 が変形しにくくなってしまう。これに対し、リング形状保持部材 30 としてスプリング 30 を用い、図 12 に示すように両端が開放した形状とすることにより、外リング 14 と内リング 12 の形状を円形に保つとともに、性交時に外リング 14 と内リング 12 を適度に変形させることができる。

なお、この第 3 実施形態に係る性感体刺激リング 10 は、図 10 に示す状態で使用する。また、上記した第 1、第 2 実施形態で示した中空構造体 40 を内リング 12 のリング径方向内側に装着して使用するようにしてもよい。

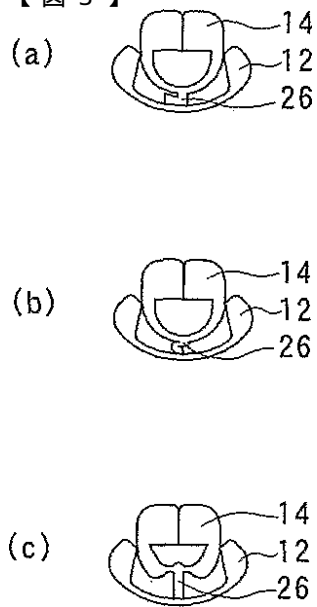
(他の実施形態)

リングの内径の大きさ、外径の大きさ、幅は適宜複数のサイズのものを用意してもよい。この場合は、陰茎の太さ等の個人差に応じて適当なサイズのものを選ぶことができる。また、シリコンゴムの硬度は、適宜複数の硬度のものを用意してもよい。この場合は好みの硬度のものを選ぶことができる。

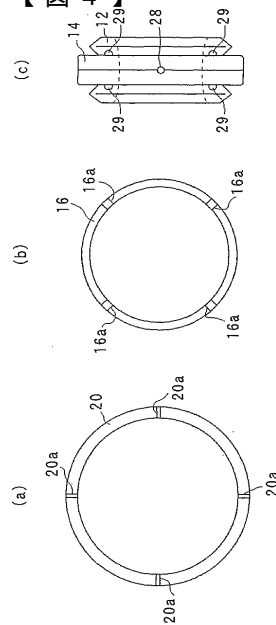
10



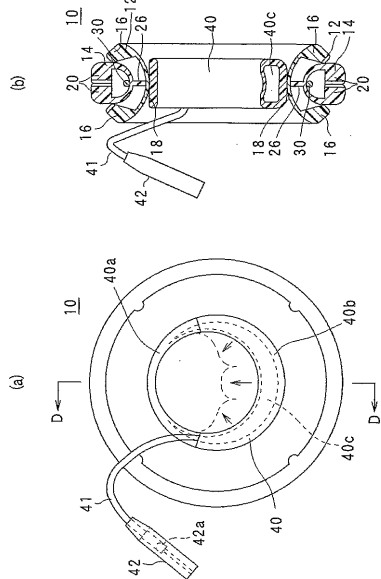
【図 3】



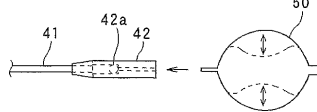
【図 4】



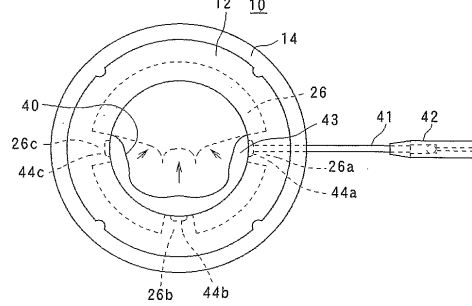
【図 5】

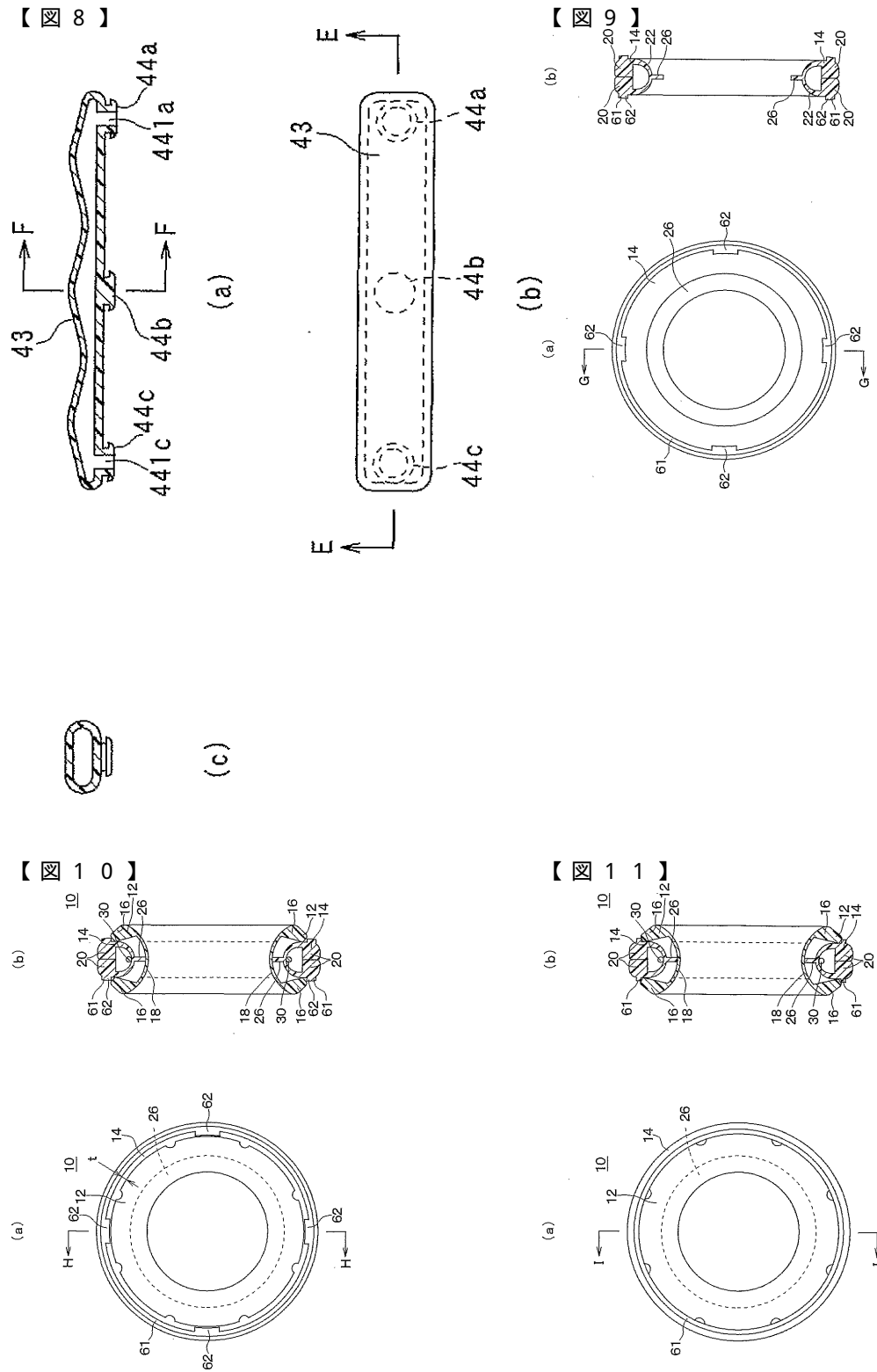


【図 6】

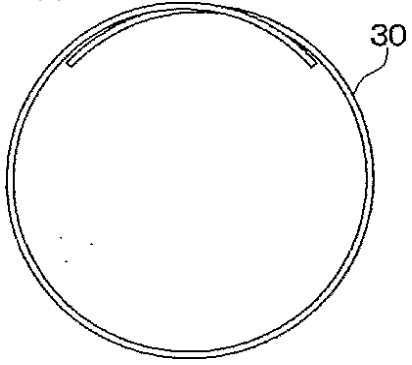


【図 7】

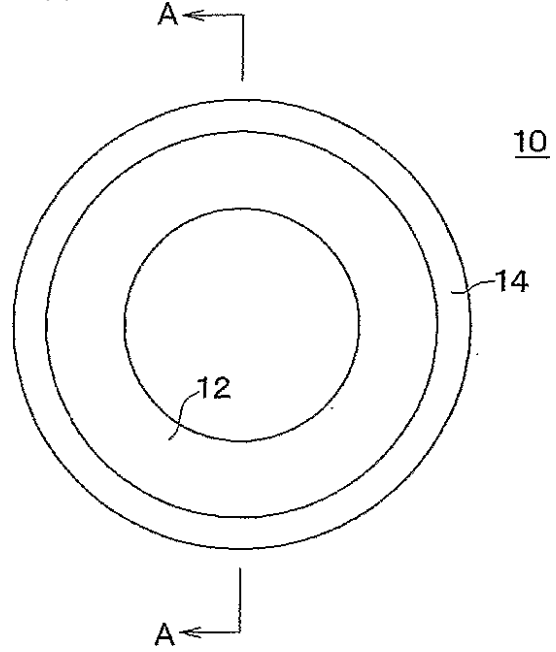




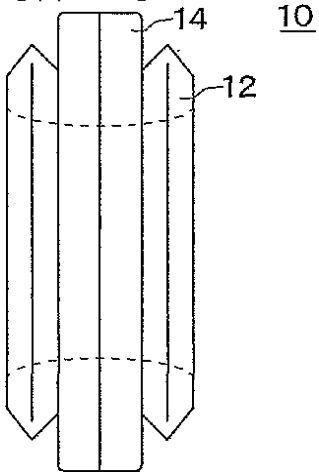
【図 12】



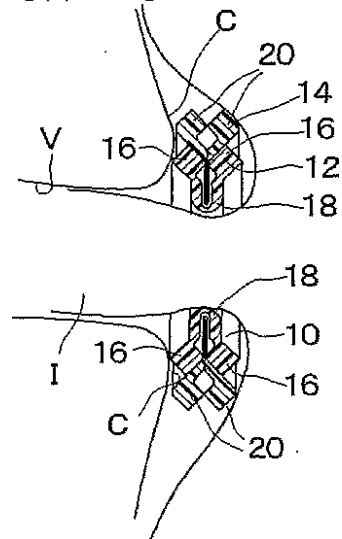
【図 13】



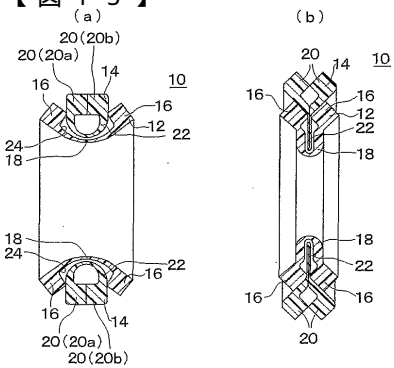
【図 14】



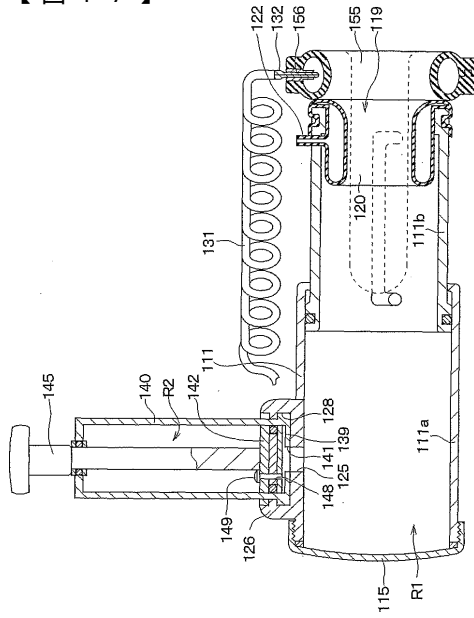
【図 16】



【図 15】



【図 17】



フロントページの続き

- (56)参考文献 特許第3052961(JP, B1)
特開平7-124188(JP, A)
実公平6-47455(JP, Y2)
特開平7-51312(JP, A)
登録実用新案第3038874(JP, U)
登録実用新案第3033843(JP, U)
登録実用新案第3042700(JP, U)

- (58)調査した分野(Int.Cl.⁷, DB名)

A61F 5/41

A61H 19/00